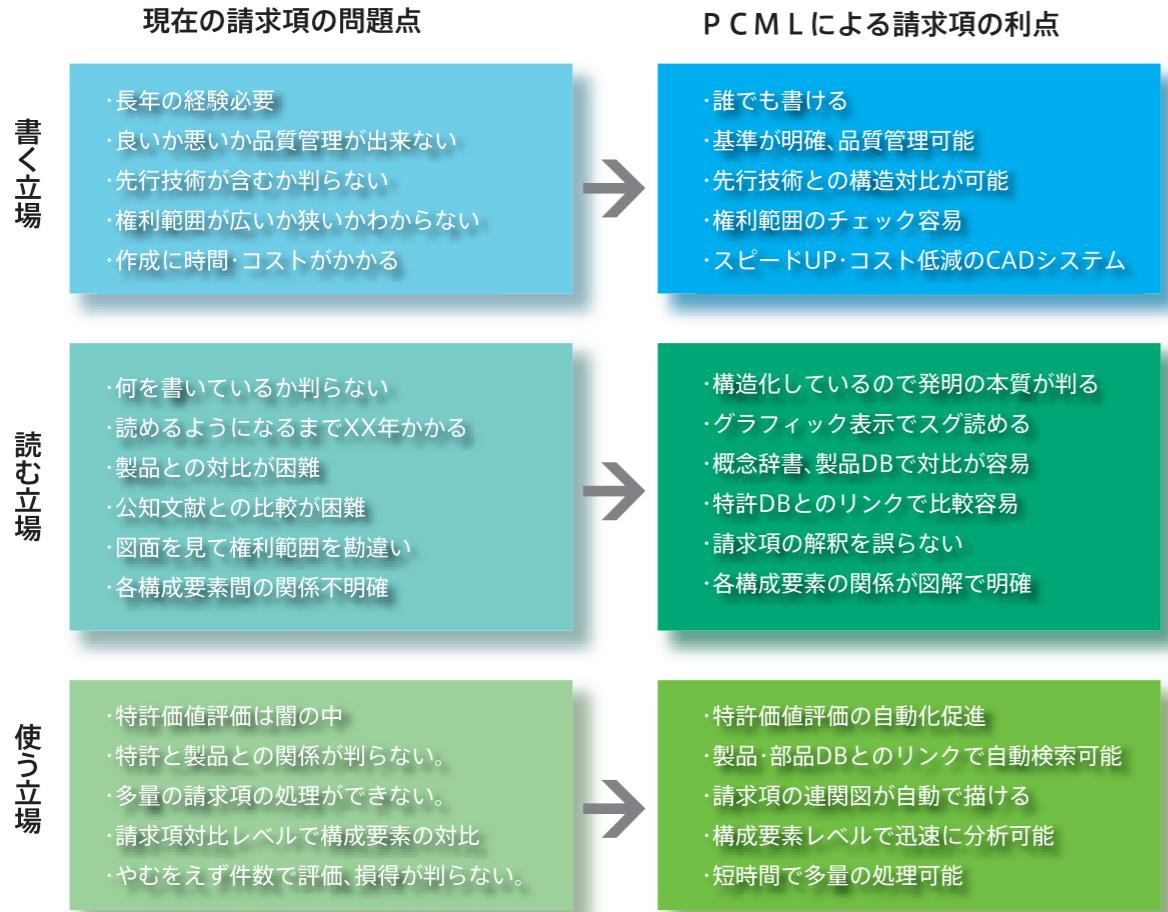


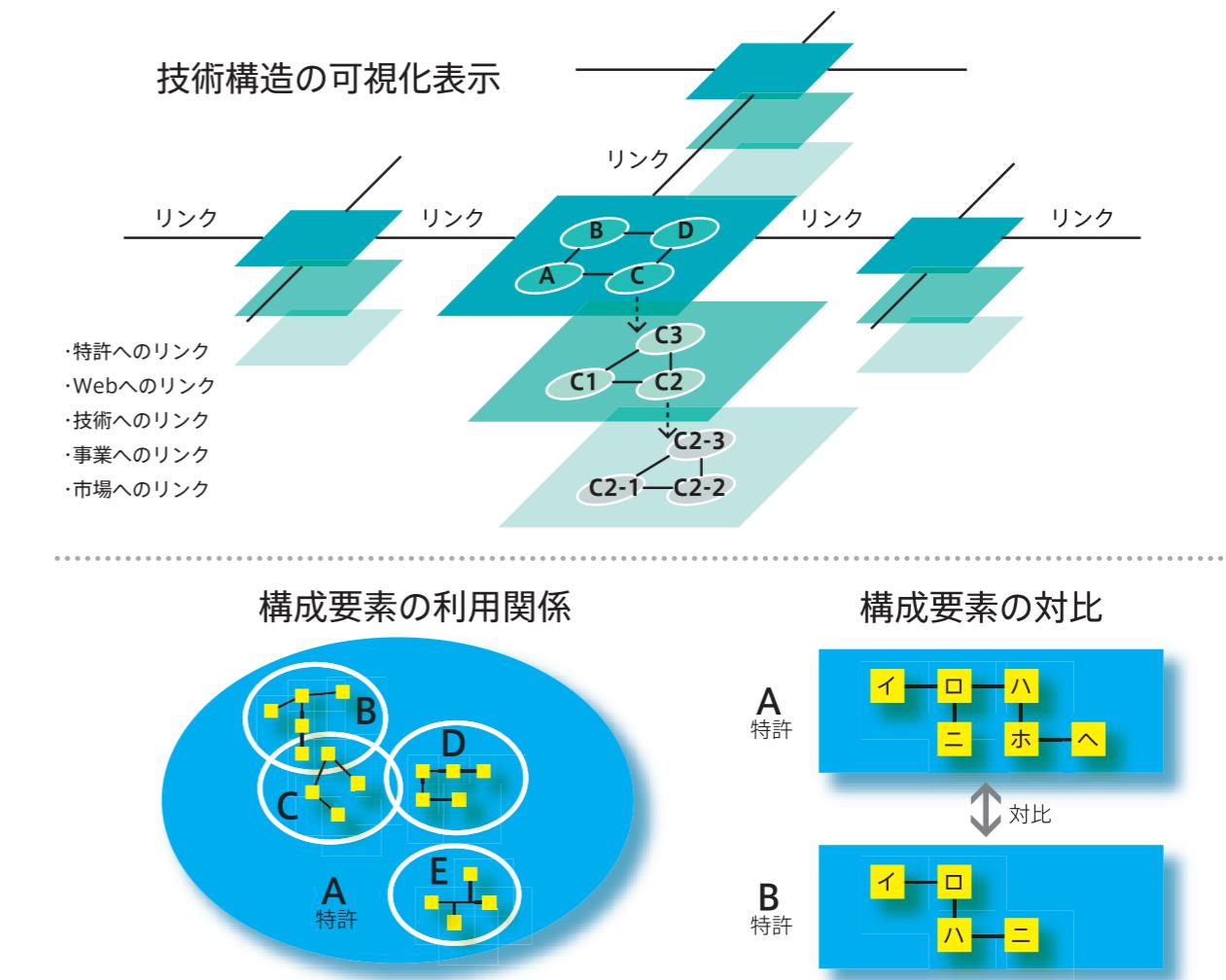
特許は請求項に始まり請求項に終わる

現在の請求項問題



請求項は最も重要。だが、自然語記述には問題がある

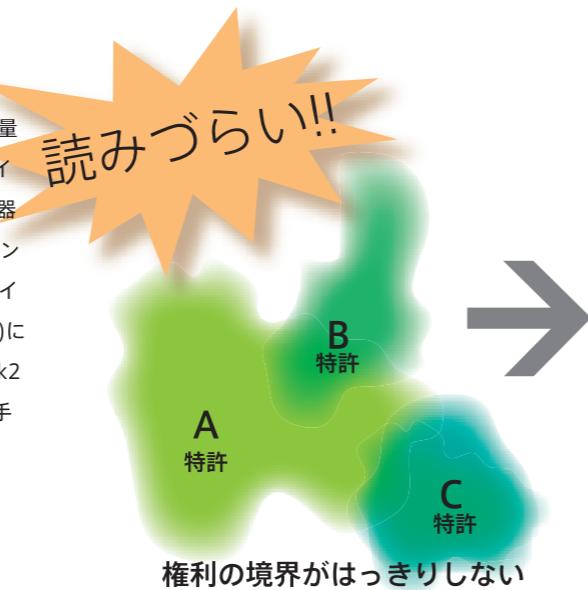
請求項の構造イメージ



現在の請求項

田中耕一さん(ノーベル賞受賞者)の発明のPCM化シミュレーション1

● 特許第3097148号
【発明の名称】質量分析装置
【請求項1】イオン源(1)と、このイオン源(1)から引き出されたイオンを質量分離する質量分析部(2)と、この質量分析部(2)で質量分離して取り出されたイオンを電子に変換するイオン電子コンバータ(4)と、変換された電子を検出して電気信号として取り出す電子検出器(3)とが順次配置されている質量分析装置において、前記質量分析部(2)とイオン電子コンバータ(4)との間に、さらにサブスリット(10)を配置する一方、イオン源(1)に印加するイオン引出電圧をV0、サブスリット(10)に印加する電圧をVs、イオン電子コンバータ(4)に印加するコンバータ電圧をVcとした場合に、Vs=V0-k1、Vc=V0-k2(ただし、k1、k2は定数)の関係を満たすように、V0の設定に応じてVs、Vcをそれぞれ決定する電圧制御手段(12)を備えることを特徴とする質量分析装置。



PCM化した請求項のブロック図表現

田中耕一さん(ノーベル賞受賞者)の発明のPCM化シミュレーション2

